単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習	単位施策	(1)	生涯学習の充実

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書 ページ番号	129

現状と課題	・精神的な豊かさへの志向が高まり、市民の生涯学習に対するニーズは多様化、高度化している。また、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられる社会を築いていくために、生涯学習の果たす役割は重要性を増している。 ・本市では、平成15 年に生涯学習基本構想・基本計画を策定し、市民が主体的に学習を進め、豊かで生き生きとした生活を送ることができるよう、生涯学習に関する施策を総合的に推進してきた。策定から10年が経過しているので、教育振興基本計画の中で、文化・スポーツ振興等の生涯学習部門として位置づけ策定していくことが課題である。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	近隣市町の大学・高校や生涯学習関連施設との連携を図り、生涯学習に関する情報の集約と広報紙やホームページによるわかりやすい情報提供に努めている。また、生涯学習センターの適切な管理に努めている。 しかし、コーディネーターの育成やボランティアセンターとの連携など今後の課題も多い。
今後の取組	・近隣市町の大学・高校や生涯学習関連施設との連携を図り、生涯学習に関する情報の集約と広報紙やホームページによるわかりやすい情報提供に努める。 ・生涯学習センター指定管理者との連絡を密にして、適正な管理に努める。 ・生涯学習コーディネーターの育成やボランティアセンターとの連携に関して検討する。 ・生涯学習基本構想・基本計画は、策定から10年が経過しているので、教育振興基本計画の中で、文化・スポーツ振興等の生涯学習部門として位置づけ策定していく。 ・生涯学習に関する情報提供にあたっては、連携する大学を増やすなどの検討をする。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	生涯学習講座受講者数	人	H21	2,077	2,535	2,824	2,539	2,200

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	生涯学習の普及・啓発及び情報提供の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	近隣市町の大学・高校や生涯学習関連施設との連携を図り、生涯学習に関する情報の集約と広報紙やホームページによるわかりやすい情報提供に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	生涯学習センターのホームページ	―	H21	―	作成	―	―	作成
	情報提供において連携している大学・高校数	校	H21	1	3	3	3	3

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習センター管理運営	―	―	―	○	○	○	―	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	②	市民ニーズに応じた生涯学習の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	生涯学習センターの指定管理に伴い、モニタリング評価や生涯学習センター運営協議会による利用者の意見を取り入れるなど生涯学習講座の充実に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市民講師による企画講座	回	H21	0	14	14	9	20
	講座の実施において連携している大学・高校数	校	H21	1	3	2	2	3

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習センター管理運営	―	―	―	○	○	○	―	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	③	相談体制・コーディネート機能の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	市民へ学習相談や講座の紹介をするなど、生涯学習に関する相談・コーディネート機能の充実に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	相談窓口の設置	ー	H21	ー	ー	ー	ー	設置

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習センター管理運営	ー	ー	ー	○	○	○	ー	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	ー
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習	単位施策	(2)	生涯学習推進体制の充実

主管課	生涯学習課	関連課	ー	総合計画書ページ番号	129

現状と課題	・市民ニーズに対応した生涯学習施策を推進し、かつ、生涯学習に取り組みやすい環境作りを行うため、生涯学習センター指定管理者をパートナーとして、高等教育機関や生涯学習活動団体との連携の強化を図っている。また、生涯学習センターの事業計画や管理について検討し評価する生涯学習センター運営協議会を設け、指定管理の適正な評価に努めている。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	生涯学習センターは、生涯学習に取り組む様々な団体、グループ、指導者、市民を総合的に支援する施設であり、開館の時点から指定管理者による施設管理と生涯学習講座などの事業運営を市との連携により行っている。生涯学習センター運営協議会を開催し、指定管理の適正な評価を行った。
今後の取組	・岩倉市生涯学習センターの管理運営等に関する基本協定・年度協定に基づき、施設運営の適正な管理を行う。 ・家庭教育、青少年教育、女性教育、成人教育、高齢者教育等に関する生涯学習講座を指定管理者とのパートナーシップのもと適切に企画し、運営する。 ・生涯学習に関する情報提供と学習相談の充実を図る。 ・市民参加による生涯学習センター運営協議会により、指定管理の適正な評価を行い、生涯学習の推進体制の充実を図る。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
指標情報	生涯学習センター利用件数	件	H21	1,499(1～3月)	6,843	7,936	7,810	7,100
	生涯学習推進協議会の設置	ー	H21	ー	設置	ー	ー	設置

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	生涯学習推進体制の充実	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	生涯学習センターは、生涯学習に取り組む様々な団体、グループ、指導者、市民を総合的に支援する施設であり、開館の時点から指定管理者による施設管理と生涯学習講座などの事業運営を市との連携により行っている。生涯学習センター運営協議会を開催し、指定管理の適正な評価を行った。

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
指標情報	生涯学習センター利用件数	件	H21	1,499(1～3月)	6,843	7,936	7,810	7,100
	生涯学習推進協議会の設置	ー	H21	ー	設置	ー	ー	設置

		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
事務事業	1	生涯学習センター管理運営	ー	○	ー	○	○	○	ー	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	○
	2	生涯学習センター運営協議会	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	0千円	58千円	58千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習	単位施策	(3)	自主的な生涯学習のサポート体制の充実

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書 ページ番号	130

現状と課題	・精神的な豊かさへの志向が高まり、市民の生涯学習に対するニーズは多様化、高度化している。また、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられる社会を築いていくために、生涯学習の果たす役割は重要性を増している。しかし、その目的は自分のための学習にとどまっており、生涯学習の最終的な目標といわれている自己実現・社会貢献への発展的展開が課題となっている。市民の自主的な活動を支援しつつ、自己実現・社会貢献のためのスキルアップを含む幅広い生涯学習機会の提供に努めなければならない。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	生涯学習講座などで得た知識や技能を基に、市民主体で生涯学習サークルが立ちあがっている。また、生涯学習サークル・社会教育関係団体には、生涯学習センターや総合体育文化センターの利用に関して減免制度を設け支援をしている。生涯学習講座の実施に当たり、市民講師を募集するなど生涯学習を支える地域人材の活用に努めた。

今後の取組	・生涯学習サークル・社会教育関係団体への支援として、生涯学習センターや総合体育文化センターの利用に関して減免制度を設けたり、部屋の利用に関して支援をしている。しかし、団体数の増加により施設利用に関して、支援方法の検討が必要である。 ・生涯学習講座の企画運営に関して、市民団体と協力して講座を企画している。また、市民自らが講師となる自主講座も引き続き開催する。今後よりよいものにするために、指定管理者と連携を強化して講座の企画運営に努める。 ・市民の社会参加の支援として、生涯学習講座などで得た知識や技能を活かし、生涯学習の最終的な目標といわれている自己実現・社会貢献への活動につながるよう努める。

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市民自主講座数	講座	H21	21	6	11	9	23
	生涯学習サークル・社会教育関係団体数	団体	H21	132	136	141	138	135

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	自主的なサークル・団体の育成・支援	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	生涯学習講座などで得た知識や技能を基に、市民主体で生涯学習サークルが立ちあがっている。また、生涯学習サークル・社会教育関係団体には、生涯学習センターや総合体育文化センターの利用に関して減免制度を設け支援をしている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	生涯学習サークル・社会教育関係団体数	団体	H21	132	136	141	138	135

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習推進事業	―	―	―	―	○	―	―	1,366千円	155千円	1,521千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	②	生涯学習を支える地域人材の充実と活用	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	生涯学習講座の実施に当たり、市民講師を募集するなど生涯学習を支える地域人材の活用に努めた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市民自主講座数	講座	H21	21	6	11	9	23

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習センター管理運営	―	―	―	○	○	○	―	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	③	社会参加の促進	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	生涯学習講座などで得た知識や技能を基に、市民主体で生涯学習サークルが立ちあがっている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	生涯学習サークル・社会教育関係団体数	団体	H21	132	136	141	138	135
	生涯学習講座受講者数	人	H21	2,077	2,535	2,824	2,539	2,200

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習サークル等関連事務	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	80千円	155千円	235千円	維持	ー
	2	生涯学習センター管理運営	ー	ー	ー	○	○	○	ー	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	2	市民文化活動	単位施策	(1)	文化・芸術活動の支援

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書 ページ番号	132

現状と課題	・本市では、文化協会加盟団体を始めとして、多様な文化活動が展開されている。市民の自主的な文化活動を支援するため、文化協会に補助金を交付し、加盟団体の活動の活性化を図っている。 ・文化協会の加盟団体数と1団体あたりの加入者数はともに減少傾向にあり、新たな加入者を増やす必要がある。 ・市民音楽祭を継続的に開催し、市民が参加できる機会を確保しており、参加者数は増加傾向にある。 ・生涯学習センターは、市民の文化創造の拠点として、活動の発表や交流の場として活用されている。更なる利用率の向上や利便性の向上を図っていく必要がある。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	文化活動団体の育成と自発的な活動の活性化を図るために、運営・財政両面から支援しているが、新たな文化振興を図るためには、団体間の交流を更に活性化させる必要がある。市民文化祭の参加者数は減少傾向にあるが、市民の意見を取り入れるなどし、より魅力のある企画運営に努めた。

今後の取組	・文化協会への補助を継続し、活動支援をしていく。文化協会の会員を増やすために広報紙に会員を募る記事を掲載するなど、情報発信の場を提供する。 ・市民音楽祭の参加者を更に幅広いものとするため、音楽祭の企画や参加者募集方法を検討する。また、来場者を増やすために企画や参加方法を検討していく。

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	文化協会加入者数	人	H21	794	664	629	643	900
	市民文化祭来場者数	人	H21	7,258	8,148	7,933	7,545	8,500
	市民音楽祭来場者数	人	H21	200	633	989	883	350

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	市民の文化・芸術活動への支援	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	文化活動団体の育成と自発的な活動の活性化を図るために、運営・財政両面から支援しているが、新たな文化振興を図るためには、団体間の交流を更に活性化させる必要がある。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	まちづくり文化振興事業助成金交付団体数	円	H21	0	2	0	0	2

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	まちづくり文化振興事業助成金	―	○	―	―	○	―	―	0千円	39千円	39千円	維持	―
	2	生涯学習推進事業	―	―	―	―	○	―	―	1,366千円	155千円	1,521千円	維持	○
	3													

個別施策	②	文化・芸術活動の発表機会の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	市民文化祭の参加者数は減少傾向にあるが、市民の意見を取り入れるなどし、より魅力のある企画運営に努めた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市民文化祭来場者数	人	H21	7,258	8,148	7,933	7,545	8,500
	市民音楽祭来場者数	人	H21	200	633	989	883	350
	市民文化祭出品者数	人	H21	3,510	3,521	3,471	3,517	3,750

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	市民文化祭委託事業	―	○	―	○	○	―	―	3,632千円	677千円	4,309千円	維持	―
	2	市民音楽祭委託事業	―	○	―	―	○	○	―	186千円	62千円	248千円	維持	―
	3													

個別施策	③	文化協会等への活動支援	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	会員の高齢化が課題ではあるが、組織の自立と拡大のために活動場所の提供や財政的な支援等を行っている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	文化協会加入者数	人	H21	794	664	629	643	900

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	文化協会育成事業	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	760千円	77千円	837千円	維持	ー
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	2	市民文化活動	単位施策	(2)	文化・芸術にふれる機会の充実

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	132

現状と課題	・市民の文化・芸術意識の高揚を図るため、質の高い芸術を鑑賞できる市民芸術劇場や文化における著名人による講演会である文化講演会を開催している。 ・テーマによって多様な層の来場者があるが、更に多くの市民が鑑賞できるような企画が必要である。

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	質の高い鑑賞・観覧機会を設け、市民が優れた文化・芸術にふれる機会の充実に努めた。

今後の取組	・幅広い層の市民が興味を持ち、鑑賞できるような出演者・講演者を選定する。様々な世代の市民のニーズに応じて、偏りのないように企画していく。

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	文化講演会来場者数	人	H20	347	―	204	―	400(H26)
	市民芸術劇場来場者数	人	H21	489	390	―	340	500

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	文化・芸術にふれる機会の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	質の高い鑑賞・観覧機会を設け、市民が優れた文化・芸術にふれる機会の充実に努めた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	文化講演会来場者数	人	H20	347	―	204	―	400(H26)
	市民芸術劇場来場者数	人	H21	489	390	―	340	500

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	文化講演会	―	○	―	○	○	―	―	0千円	0千円	0千円	維持	―
	2	市民芸術劇場	―	○	―	○	○	―	―	2,251千円	104千円	2,355千円	維持	○
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	2	市民文化活動	単位施策	(3)	文化振興の推進
主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	133
現状と課題	・音楽のあるまちづくりはセントラル愛知交響楽団との協働の中で20 年の蓄積があり、ポップスコンサート、市役所ロビーコンサートなどが市民の間で定着している。ジュニアオーケストラなど青少年育成とも関連した音楽文化振興は、本市の大きな特色となっており、今後とも、市民・音楽家・行政の協働により進めていく必要がある。 ・本市がこれまで取り組んできた音楽のあるまちづくりを始め、様々な文化振興施策の現状や市民参加・公共施設のあり方などを検討し、更に質の高い文化都市としてのあるべき姿や方向性を描くことが求められている。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	今後策定予定の教育振興基本計画の中で、文化振興ビジョンの内容も含め策定を計画している。セントラル愛知交響楽団とのパートナーシップのもと、ポップスコンサートやジュニアオーケストラ定期演奏会等を開催するなど、身近に音楽にふれる機会を提供し、音楽のあるまちづくりを推進している。
今後の取組	・ポップスコンサートの来場者数増加のため、市民ニーズを把握し内容の検討を行う。 ・様々な文化振興施策に関するイベントのあり方を再検討し、質を高める。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	ポップスコンサート来場者数	人	H21	407	283	412	338	420
	ジュニアオーケストラ定期演奏会来場者数	人	H21	420	420	341	309	420

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	文化振興ビジョンの策定	主管課	生涯学習課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	今後策定予定の教育振興基本計画の中で、文化振興ビジョンの内容も含め策定を計画している。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	教育振興基本計画策定	―	H21	―	―	―	－	策定

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	教育振興基本計画策定事業	○	○	○	―	―		―	0千円	0千円	0千円	拡大	○
	2													
	3													

個別施策	②	音楽のあるまちづくりの推進	主管課	生涯学習課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	セントラル愛知交響楽団とのパートナーシップのもと、ポップスコンサートやジュニアオーケストラ定期演奏会等を開催するなど、身近に音楽にふれる機会を提供し、音楽のあるまちづくりを推進している。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	ポップスコンサート来場者数	人	H21	407	283	412	338	420
	ジュニアオーケストラ定期演奏会来場者数	人	H21	420	420	341	309	420

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	音楽文化普及事業	―	○	○	○	○		―	6,578千円	124千円	6,702千円	維持	―
	2	ジュニアオーケストラ運営事業	―	○	○	○	○		―	9,921千円	990千円	10,911千円	維持	―
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	3	文化財の保護・継承	単位施策	(1)	遺跡・文化財の保護・継承

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書 ページ番号	135

現状と課題	・中街道遺跡出土の木製品について保存処理を行って長期の保存・展示に耐えるようにしたが、他の出土物と同様保管場所が十分でない。 ・平成25年度に新しく有形民俗文化財の指定が1件あり、今後地元で保存していくためのきっかけとなった。 ・指定文化財については、新たに史跡指定への検討を依頼されているものがあり、今後の調査が必要である。 ・市民有志による民具研究会によって民具の整理・展示を行っている。会員の高齢化が進んでいるため、専門的な知識を持った会員の発掘が必要である。 ・文化財のパンフレットについては、作成から時間が経過しているため、最新の情報を掲載したものを作成する必要がある。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	出土埋蔵文化財の保存処理や、市指定文化財の新規指定など、文化財の保護に努めた。くすのきの家や郷土資料室における収蔵品の展示以外に、生涯学習センターでの企画展の実施や、指定文化財である山車のリーフレットを作成するなど、より多くの市民の目にふれる機会を提供するとともに、岩倉の歴史や文化財に関する講座を開催し、市民の理解を深めるよう努めた。

今後の取組	・市内の文化財の把握に努め、文化財の指定を検討していく。また、埋蔵文化財調査も併せて実施していく。 ・文化財の専門職員配置に向けて、研究を進めていく。 ・収蔵品の活用に向けて、収蔵品の整理・展示をするとともに、データベース化を実施する。 ・新たに発掘や指定した文化財を掲載したパンフレットの作成を行っていく。

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	指定文化財件数	件	H21	17	18	18	19	19
	文化財・収蔵品データベース化進捗状況	%	H21	―	0.0	0.0	0.0	50.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	遺跡・文化財の発掘と保護・継承	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	古市場遺跡・学校給食センター建設候補地で試掘調査を行い、埋蔵文化財の現状把握に努めた。中街道遺跡出土の木製品に保存処理を行い、長期の保存・活用に耐えられるようにした。平成25年度に新しく有形民俗文化財の指定が1件あり、今後地元で保存していくためのきっかけとなった。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	指定文化財件数	件	H22	17	18	18	19	19
	埋蔵文化財発掘件数	件	H22	0	1	1	2	1

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	文化財調査作業	―	―	―	―	―	―	○	0千円	155千円	155千円	拡大	○
	2	埋蔵文化財調査作業	―	―	―	―	○	―	―	241千円	232千円	473千円	維持	―
	3	史跡公園施設管理事業	―	―	―	○	○	―	―	3,813千円	77千円	3,890千円	維持	―

個別施策	②	専門的な職員の配置	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	研修への参加や実務経験を積み重ねることにより、職員の専門的な知識習得に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	文化財の専門的な知識を有する職員の配置	人	H22	0	0	0	0	1

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	文化財担当者研修派遣	―	―	―	―	○	―	―	0千円	155千円	155千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	③	収蔵品の整理と展示の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	くすのきの家や郷土資料室において収蔵品の展示をしている。生涯学習センターで企画展を実施するなど、より多くの市民の目にふれる機会を提供している。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	収蔵品目録のデータベース化	%	H22	0	0	0	0	50

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	文化財データベース化事業	○	○	○	○	ー	ー	ー	0千円	0千円	0千円	拡大	○
	2													
	3													

個別施策	④	文化財に関する講座と資料の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	生涯学習講座として、地域固有の歴史・文化に関する講座を開催したほか、山車巡行に関するリーフレットの作成をした。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	歴史・文化財講座の開講数	回	H22	5	7	4	8	5
	パンフレットの更新	種類	H22	0	0	0	1	5

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	生涯学習センター管理運営	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	38,404千円	1,131千円	39,535千円	維持	ー
	2	文化財パンフレット作成事業	ー	○	ー	ー	○	ー	ー	63千円	39千円	102千円	拡大	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	3	文化財の保護・継承	単位施策	(2)	文化財保護の担い手づくり
主管課	生涯学習課	関連課	ー	総合計画書ページ番号	136
現状と課題	・平成23年度より文化財保護委員を増員し、専門的な知識を持った指導者の確保を行っているが、更なる人材の確保が必要である。 ・民俗資料企画展の実施など文化財の学習機会を提供しているが、専門知識を持つ人材を育成するところまでには至っていない。 ・小学校の遠足での史跡公園の利用や総合学習の時間での郷土資料室の見学などは、例年行われている。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	文化財保護委員の視察研修を行うなどし、幅広いジャンルの識見の向上を図った。民俗資料企画展や発掘調査による文化財展を企画・実施し、学習機会の増加に努めている。民俗資料企画展の実施や小学校の総合学習での郷土資料室の利用などを通して、地域学習の推進を図っている。
今後の取組	・文化財保護委員の増員を行い、様々な分野の専門家の確保に努める。 ・歴史・文化財ガイドの養成に努め、ガイドとして活躍できる環境を整える。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	歴史・文化財ガイド養成講座受講者数	人	H21	ー	0	8	8	40
	歴史・文化財ガイド登録者数	人	H21	ー	0	0	0	20

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	文化財保護リーダーの確保	主管課	生涯学習課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	文化財の適切な保護と継承を推進するため、人材の確保を目指し情報収集に努めた。 文化財保護委員の視察研修を行うなどし、幅広いジャンルの識見の向上を図った。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	文化財保護委員の人数	人	H22	7	8	8	8	10

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	文化財保護委員報酬	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	60千円	23千円	83千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	②	歴史・文化財ガイドの育成・活用	主管課	生涯学習課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	民俗資料企画展や発掘調査による文化財展を企画・実施し、学習機会の増加に努めた。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	歴史・文化財ガイド養成講座受講者数	人	H21	ー	0	8	8	40
	歴史・文化財ガイド登録者数	人	H21	ー	0	0	0	20

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	歴史文化財ガイド養成講座	ー	○	ー	ー	ー	ー	○	0千円	12千円	12千円	維持	ー
	2													
	3													

個別施策	③	地域学習の推進	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	民俗資料企画展の実施や小学校の総合学習での郷土資料室の利用などを通して、地域学習の推進を図っている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	民俗資料等企画展	回	H21	1	1	1	1	1
	文化財講座の開講数	回	H21	3	7	8	8	5

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	民俗資料等企画展委託	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	330千円	139千円	469千円	維持	ー
	2	文化財講座事業	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	0千円	31千円	31千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	3	文化財の保護・継承	単位施策	(3)	山車巡行の継承と情報発信

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	136

現状と課題	・市内にある3台の山車は、昭和49年に下本町山車と大上市場山車、昭和50年に中本町山車が、市の指定文化財となり、各町保存会の組織化や山車の修復が行われ、平成4年に3台の山車が揃って、岩倉街道を曳き廻す姿が復活した。 ・山車には、からくり人形とお囃子が伝えられ、巡行行事の規模と有形・無形双方を含む広がりにおいて、本市を特徴付ける市民共通の財産として定着してきている。平成20年に設立された岩倉市山車保存会と協力しながら保護・継承していく必要がある。 ・平成4年に山車巡行が復活してから20年が経過していることもあり、山車本体の大規模な修繕が必要となっている。

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	平成25年度に大上市場の山車のからくりの修繕を行った。 桜まつり協賛で山車巡行を実施している。春と夏の山車巡行を市役所、岩倉駅地下及びさくらの家のモニターにてPRしているが、今後もPR方法の研究が必要である。
今後の取組	・岩倉市山車保存会と連携し、山車、からくり人形、お囃子の保護と山車巡行の継承に努める。また、山車に関する情報をホームページや岩倉駅前など人の集まる場所で流すなど、山車情報の発信に努める。 ・平成25年度に大上市場の山車のからくりの修繕を行ったが、今後の大規模修繕については各保存会の意見や予定を把握し、計画的に進めていく。	

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
指標情報	岩倉の山車を知っている市民の割合	%	H22	94.5	―	―	―	95.0
	岩倉市山車保存会会員数	人	H22	935	892	892	882	950

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	山車巡行の継承と情報発信	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	平成25年度に大上市場の山車のからくりの修繕を行った。 桜まつり協賛で山車巡行を実施している。春と夏の山車巡行を市役所、岩倉駅地下及びさくらの家のモニターにてPRしているが、今後もPR方法の研究が必要である。

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
指標情報	岩倉市山車保存会会員数	人	H22	935	892	892	882	950

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	市指定文化財保護事業	―	―	―	○	○	○	―	2,214千円	251千円	2,465千円	維持	○
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	4	図書館	単位施策	(1)	図書館サービスの充実

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	139

現状と課題	・図書館は地域の情報の拠点として重要な役割を担っている。これまで資料の貸出しを運営方針の中心としながら、インターネットによる蔵書検索・貸出予約や県・他市町村の図書館との相互利用など、利便性の向上を図ってきた。今後は、滞在型利用や課題解決型のレファレンスサービスの利用の増加が見込まれることから、その対応が求められている。 ・学校図書館とのネットワーク化により市内小中学校と図書館の相互の蔵書検索ができるようにするなど、事務の効率化や図書資料の有効活用に取り組んでいる。 ・市民の多様なニーズや活動に対応できるように幅広い分野の質の高い図書・資料の収集をはじめ、インターネットによるデータベースへの接続サービスにより、さまざまな分野の情報収集や調査研究にも対応できる図書館づくりが求められている。 ・これまでの月曜日と月末日の休館から開館日の拡大に取り組んでいる。平成23年度からは月末の館内整理日（休館）が土・日曜日に重なった場合は開館とした。平成24年度からは夏休み期間中の月曜休館日を開館とした。 ・図書館コンピューター更新にあわせ利用者用インターネット端末を設置しインターネット環境を整備した。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	多読図書（外国語）やDVDを購入し、資料の多様化に努めている。インターネットを活用しての蔵書検索や予約のサービスを行っている。また、愛知県図書館をはじめ、県内図書館の連携により、相互に図書を貸借し、リクエストに応えている。なお、開館日の拡大として、平成25年度には月曜日の祝日開館と12月28日を開館した。

今後の取組	・調査研究のための資料探しを支援するレファレンスサービスの充実を図るため、職員のスキルアップを目指す。 ・幼児から高齢者まで各世代のニーズに応じた資料を揃え、誰もが気軽に読書に親しめる環境を整える。

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市民1人当たりの蔵書数	冊	H21	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6
	貸出延べ人数	人	H21	63,616	64,062	62,744	60,263	64,000

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	図書館資料の充実	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	やさしい外国語をたくさん読むことで、外国語の基本的な構文、文法、基本単語が身につく学習法である多読学習のための多読図書（外国語）や児童用のDVDを購入し、資料の多様化に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市民1人当たりの蔵書数	冊	H21	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6
	市民1人当たりの貸出数	点	H21	5.8	5.9	5.9	5.7	6.0

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	図書購入事業	―	―	―	○	○	―	―	9,733千円	967千円	10,700千円	維持	―
	2	DVD購入事業	―	―	―	―	○	―	―	234千円	26千円	260千円	維持	―
	3													

個別施策	②	利用しやすい図書館づくりの推進	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	インターネットを活用しての蔵書検索や予約のサービスを行っている。また、平成25年度には月曜の祝日と12月28日の開館を行いサービスの充実を図った。 レファレンスサービスに対応したパソコンを配置した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	レファレンスデスクの設置	所	H22	0	0	1	1	1
	インターネットによる予約処理件数	件	H22	3,372	3,322	3,176	3,104	3,400

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	電子情報システム維持管理事業	―	―	―	○	○	―	―	6,812千円	522千円	7,334千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	③	図書館の相互利用の促進	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	◎	愛知県図書館をはじめ、県内図書館の連携により、相互に図書を貸借し、リクエストに応えている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	リクエスト図書の相互貸借	冊	H22	838	734	800	832	840

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	相互貸借事業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	0千円	258千円	258千円	維持	ー
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	4	図書館	単位施策	（2）	ボランティアの育成と活動促進

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	140
現状と課題	・市民ボランティアが行っているお話し会やブックスタート、人形劇フェスティバル、大型紙芝居の作成などへの支援を強化し、子どもの読書活動へのきっかけづくりとなる活動の更なる充実が求められている。				

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	学校図書館ネットワーク推進事業会議への学校読書指導員の参加やボランティア養成講座の実施によりボランティアの育成を図るとともに、図書館ボランティアの協力により、生涯学習センター及び図書館でお話し会を実施した。
今後の取組	・市民団体の交流や情報交換をする岩倉図書ボランティアネットワークを活用し、ボランティア活動の充実を図る。 ・ボランティア養成講座を開催し、図書館ボランティアの育成を図る。	

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
指標情報	お話し会の週当たり開催回数	回	H21	2	3	3	3	3
	図書館ボランティアの人数	人	H21	12	11	12	12	14

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	ボランティアの育成と活動促進	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	学校図書館ネットワーク推進事業会議への学校読書指導員の参加やボランティア養成講座の実施によりボランティアの育成を図るとともに、図書館ボランティアの協力により、生涯学習センター及び図書館でお話し会を実施した。

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
指標情報	お話し会の週当たり開催回数	回	H21	2	3	3	3	3
	図書館ボランティアの人数	人	H21	12	11	12	12	14

		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
事務事業	1	学校図書館ネットワーク推進事業	―	―	―	―	―	○	○	40千円	12千円	52千円	維持	○
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	4	図書館	単位施策	(3)	子ども読書活動の推進

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	140

現状と課題	・読書活動は、子どもが人生をより深く生きる力をつけていく上で、欠くことができないものであるため、子どもの読書活動を総合的に推進していく必要がある。 ・平成22年度に子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動の推進のために読書環境の整備・充実に努めている。 ・学校図書館との連携を図るため、市図書館を中心としたネットワーク化を進めている。 ・図書館、生涯学習センター、保健センターでのお話し会、ブックスタート等をボランティアの協力を得て実施しているが、ボランティアの養成と活動の充実が課題である。

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	図書館、生涯学習センター、保健センターでのお話し会・ブックスタート等をボランティアの協力を得て継続して行うことにより子どもの読書活動の推進に努めた。学校図書館とインターネットで結びネットワーク機能を高めた。
今後の取組	・図書館、生涯学習センター、保健センターでのお話し会・ブックスタート等をボランティアの協力を得て実施する。今後も、ボランティアの確保や活動回数の増加に努める。 ・子どもの図書として高い評価を受けている絵本・児童図書で、傷みがひどいものや欠本となっているものの買い替え等をしていく。 ・図書館でお話し会に参加してもらえるボランティア養成講座を開催し、図書館ボランティアの充実を図っていく。	

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	児童向け図書の貸出数（絵本・紙芝居を含む）	点	H21	85,913	88,421	91,233	91,726	90,000

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	子ども読書活動の推進	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	図書館、生涯学習センター、保健センターでのお話し会・ブックスタート等をボランティアの協力を得て継続して行うことにより子どもの読書活動の推進に努めた。学校図書館とインターネットで結びネットワーク機能を高めた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	児童向け図書の貸出数（絵本・紙芝居を含む）	点	H21	85,913	88,421	91,233	91,726	90,000

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	学校図書館ネットワーク事業推進会議	―	―	―	―	―	―	○	0千円	8千円	8千円	維持	―
	2	子ども読書推進事業（お話し会・ブックスタート等）	―	○	―	―	―	○	○	604千円	77千円	681千円	維持	○
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	5	青少年健全育成・家庭教育	単位施策	(1)	青少年の社会参加の促進
主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	143
現状と課題	・小学生の居場所づくりとして、放課後子ども教室や放課後児童クラブがある。 ・健全な仲間づくりができる場としての中高生の居場所がない。新規の施設建設は難しいため、既存施設を活用した居場所づくりが必要である。 ・子ども条例においても、子どもの居場所づくりが課題となっており、各課が連携し情報共有とともに検討が必要である。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	新成人の代表が企画・運営する新成人のつどいを開催している。生涯学習講座として青少年向けの講座を開催したり、小学生の居場所づくりとして、放課後子ども教室などを実施している。青少年団体の活動や実態等の情報収集に努め、それらの活動等のPRを行った。
今後の取組	・将来の社会の担い手としての自覚と社会人として責任を確認する場として、新成人の代表が企画・運営する新成人のつどいを開催する。 ・引き続き、青少年団体の活動や実態等の情報収集に努める。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	自分も社会のために役立ちたいと思う中学生の割合	%	H21	75.0	―	―	―	80.0
	放課後子ども教室参加者数	人	H21	6,300	4,075	4,005	3,310	6,500

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	青少年の社会参加活動機会の創出	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	成人を迎えた青年を祝うとともに、将来の社会の担い手としての自覚と社会人として責任を確認する場として、新成人の代表が企画・運営する新成人のつどいを開催している。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	新成人のつどい実行委員数	人	H21	12	19	13	17	20

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	成人式事業	―	―	―	○	○	○	―	831千円	290千円	1,121千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	②	青少年の社会参加・交流拠点の整備	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	生涯学習講座として青少年向けの講座を開催したり、小学生の居場所づくりとして、放課後子ども教室を実施している。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	青少年の社会参加・交流拠点の整備	―	H21	―	―	―	-	整備
	放課後子ども教室参加者数	人	H21	6,300	4,075	4,005	3,310	6,500

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	放課後子ども教室	―	―	―	―	○	―	―	1,642千円	706千円	2,348千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	③	青少年団体への支援	主管課	生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	青少年団体の活動や実態等の情報収集に努め、それらの活動等のPRを行った。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	青少年団体の社会教育関係団体登録数	団体	H21	2	2	2	2	3

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	社会教育関係団体登録	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	135千円	116千円	251千円	維持	ー
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	5	青少年健全育成・家庭教育	単位施策	（2）	非行防止活動・健全な地域環境づくりの推進

主管課	生涯学習課	関連課	ー	総合計画書ページ番号	144

現状と課題	・今日多くの青少年が、スポーツ、芸術、ボランティアなど様々な分野において活躍しているが、一部には学習意欲の低下、規範意識の希薄化、非行の増加、そして、ニート、ひきこもりに象徴される社会的自立の遅れなど憂慮すべき状況が見られる。 ・家庭や地域社会においても、教育力の低下、親の過保護あるいは放任、図書やインターネット上の有害情報の氾濫など、青少年を取り巻く環境が悪化している。 ・次世代を担う青少年が、地域社会の中で育まれ、豊かな社会性と優れた創造性を培い、時代の進展に対応できる人間として健全に成長していくことは市民すべての願いである。青少年が成長し、自己実現を成し遂げていくために、良き環境を創り上げていくことが重要である。

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	青少年健全育成上の課題を把握し実効性のある取組の基礎資料を得るために、中学校2年生を対象にした家庭生活の様子、地域社会との関わり、体験活動及び規範意識の現状などの生活実態調査を実施し、その傾向や特徴を明らかにした報告書を作成し配布した。
今後の取組	・青少年問題協議会専門委員会を開催し、市内の情報交換を実施していく。 ・小中学校の各学期末にあわせて、朝（岩倉駅）と昼（ピアゴ）の青少年健全育成啓発活動を継続して実施していく。 ・昼（ピアゴ）の青少年健全育成啓発活動では、引き続き、市内の中学校ボランティアサークルの参加も得て実施していく。	

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
指標情報	青少年健全育成啓発事業に参加した中学生の人数	人	H21	60	60	60	60	75

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	非行防止活動・健全な地域環境づくりの推進	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	青少年健全育成上の課題を把握し実効性のある取組の基礎資料を得るために、中学校2年生を対象にした家庭生活の様子、地域社会との関わり、体験活動及び規範意識の現状などの生活実態調査を実施し、その傾向や特徴を明らかにした報告書を作成し配布した。

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
指標情報	青少年健全育成啓発事業に参加した中学生の人数	人	H21	60	60	60	60	75

		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
事務事業	1	青少年健全育成事業	ー	○	ー	ー	○	○	ー	408千円	116千円	524千円	維持	○
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	5	青少年健全育成・家庭教育	単位施策	(3)	地域・家庭の教育力の向上

主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	144

現状と課題	・家庭教育は全ての教育の出発点であり、乳幼児期の親子の絆づくりから家族とのふれあいを通して生活習慣・生きる力・信頼・情操・思いやり・善悪の判断などの習得という大事な役割を担っている。 ・かつては多世代同居の家庭の中で家庭教育はいつの間にか行われていたが、核家族化が進み、子を育てる親のみが家庭教育を背負うようになってきた。しかも、その親自身核家族化が進む中で育ち、幼い子に接する経験も乏しく、子育ての中で子どもにどう向き合えばいいのかわからず、多くが育児や家庭教育に不安を抱えている。 ・こうした現状を改善するには、物質的な子育て支援にとどまらず、親としてのあり方を考えたり、親としての力量を高めるための学びの場の確保や子育て親育ち情報の的確な提供など親をサポートする取組が必要である。

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	小中学校、幼稚園と連携し、子どもの発達段階に応じた親の学びの場の提供や、4か月健診でミニ講座を実施している。また、子育ち親育ち情報誌の活用も進めている。
今後の取組	・次代の親となる中学生への働きかけの強化として、中学校3年間の中で一度は保育園などに出掛け保育を学ぶなど、子育ての喜びを体得する機会が確保できるように今後も努める。 ・平成24年度から提供を開始した子育ち親育ち情報誌は、最新の情報を踏まえて内容の改訂と増刷を行う。	

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
指標情報	子育ち・親育ち講座受講者数	人	H21	2,000	2,100	1,947	2,988	2,200
	あいさつをするなど地域の子どもたちとふれあう機会がある市民の割合	%	H22	42.9	―	―	―	46.0

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	地域・家庭の教育力の向上	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	小中学校、幼稚園と連携し、子どもの発達段階に応じた親の学びの場の提供や、4か月健診でミニ講座を実施している。また、子育ち親育ち情報誌の活用も進めている。

	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
指標情報	子育ち・親育ち講座受講者数	人	H21	2,000	2,100	1,947	2,988	2,200

		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
事務事業	1	子育ち親育ち推進事業	―	○	―	○	○	―	―	574千円	223千円	797千円	維持	○
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	5	青少年健全育成・家庭教育	単位施策	(4)	子ども条例の推進
主管課	児童家庭課	関連課	―	総合計画書ページ番号	144
現状と課題	・子ども条例に基づき、小中学校において子どもの権利に関する授業を行っているが、現状としてはその認知度は低い状態である。また、子どもの権利救済委員を設置し、市の取組についての報告等を行っている。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	11月の子どもの権利を考える週間の間に、市内小中学校において子どもの権利に関する授業を実施した。子どもの権利救済委員会を1回開催した。子ども自身による情報発信の機会として、中学生の職場体験活動を活用した広報紙作成の場を提供し、生徒がジュニアレポーターとして、子どもの権利について広報いわくらの記事を作成した。これと合わせて、市民周知を図るために、11月の広報紙で子ども条例・子ども行動計画についての特集記事を掲載した。
今後の取組	・子ども行動計画の施策として掲げた子どもの権利に関する意識の向上を図るために、子ども自身による情報発信や保護者や大人に対する研修等を推進する。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	子ども条例の認知度	%	H22	20.1	―	―	―	40.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	子ども条例の啓発	主管課	児童家庭課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	11月の子どもの権利を考える週間の間に、市内小中学校において子どもの権利に関する授業を実施した。子どもの権利救済委員会を1回開催した。子ども自身による情報発信の機会として、中学生の職場体験活動を活用した広報紙作成の場を提供し、生徒がジュニアレポーターとして、子どもの権利について広報いわくらの記事を作成した。これと合わせて、市民周知を図るために、11月の広報紙で子ども条例・子ども行動計画についての特集記事を掲載した。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	子どもの権利に関する授業の実施学校数	校	H22	7	7	7	7	7

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	子ども条例啓発事業	―	○	―	―	○	―	―	40千円	70千円	110千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	②	子どもに関わる行動計画の推進（「子育て・子育ち支援」の再掲）	主管課	―
評価及び理由	評価	評価理由		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1													
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

1　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	6	スポーツ	単位施策	(1)	スポーツの普及と振興

主管課	生涯学習課	関連課	ー	総合計画書ページ番号	147

現状と課題	・健康増進と青少年の健全育成などを図るため、一市民一スポーツを合言葉に、市民が気軽に参加できるスポーツ教室の開催や市民体育祭、市民健康マラソンなどのスポーツイベントを開催しスポーツの普及に努めている。 ・また、平成20年度に設立した総合型地域スポーツクラブである岩倉スポーツクラブでは、年間120回を越えるスポーツ教室やスポーツイベントを開催し、市民にスポーツ体験の機会を提供している。 ・日ごろスポーツを定期的に行っている市民は、各種の教室やイベントなどへの参加に積極的であるが、スポーツを行っていない市民をどのように参加させるかが課題である。また、岩倉スポーツクラブの会員数も伸び悩んでおり、会員数の拡大も課題となっている。 ・これまでスポーツ教室の参加を広報紙等で募集していたが、平成24年度から市内で活動する各種団体に講師を派遣しスポーツ教室を開催した。

2　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	市民体育祭、スポーツフェア、市民健康マラソンなどの市民が気軽に参加できるイベントを開催した。教育委員会や体育協会、岩倉スポーツクラブの主催で年間を通しスポーツ教室を開催し、市民団体が自主的に開催するスポーツ体験教室に指導者の派遣を行った。
今後の取組	・平成26年度から総合体育文化センターの管理を愛知スイミング・光洋ビル管理共同事業体に指定管理委託をし、民間活力によるスポーツ振興を行っていく。 ・指定管理者が行うスポーツ教室の開催を通して、日ごろスポーツを行っていない市民に対してスポーツへの参加の機会を提供していく。 ・スポーツ教室やスポーツイベントの際に、岩倉スポーツクラブの活動についてPRを行うとともに、高齢者を対象とした教室などを検討して会員数の増加を目指す。	

3　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	スポーツ教室参加者数（市主催分）	人	H21	298	302	280	319	350
	スポーツ振興事業開催数	回	H21	13	13	13	14	15

4　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	スポーツの普及と振興	主管課	生涯学習課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	市民体育祭、スポーツフェア、市民健康マラソンなどの市民が気軽に参加できるイベントを開催した。教育委員会や体育協会、岩倉スポーツクラブの主催でスポーツ教室を開催した。市民団体が自主的に開催するスポーツ体験教室に指導者の派遣を行った。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	スポーツ教室参加者数（市主催分）	人	H21	298	302	280	319	350
	スポーツ振興事業開催数	回	H21	13	13	13	14	15

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	スポーツ教室	ー	○	○	ー	○	ー	ー	568千円	232千円	800千円	維持	○
	2	スポーツ振興事業	ー	○	○	○	○	○	ー	8,489千円	774千円	9,263千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	6	スポーツ	単位施策	(2)	指導者・団体の育成と充実
主管課	生涯学習課	関連課	ー	総合計画書ページ番号	147
現状と課題	・岩倉市体育協会はもとより、平成20年度に総合型地域スポーツクラブである岩倉スポーツクラブが設立したことにより、年間120回を超えるスポーツ教室を開催し、これまでスポーツを行っていない人たちも気軽にスポーツを楽しむことができる環境が提供されている。 ・岩倉スポーツクラブ会員数は100人前後と伸び悩んでおり、今後運営していくには会員数をどのように増やしていくのかが課題である。 ・岩倉スポーツクラブの教室開催回数は毎年増加傾向にあるが、今後回数を増やしていくには、会場や指導者の確保が課題である。 ・指導者については、ニュースポーツを中心に資格取得費用の助成を行っているが、日本体育協会が主催する公認スポーツ指導員などは、県外の講習会場で資格取得までに日数が掛かるため希望する人がいないのが現状である。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	指導者養成事業でカローリングのA級指導員の資格を取った者が講師となり、総合体育文化センターでC級審判員の指導者講習会を開催し、カローリングC級審判員を11名養成した。 平成25年度から岩倉スポーツクラブ事業委託料を交付し交流事業を実施した。
今後の取組	・岩倉スポーツクラブにおいて高齢者を対象とした教室や市民が興味を持ち参加したくなる教室の開催を企画し、会員数の増加に努める。 ・スポーツ指導者の資格取得費用の支援制度を広く周知しスポーツ指導者の養成・確保に努める。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	スポーツ指導者有資格者数	人	H21	ー	7	5	12	ー
	総合型地域スポーツクラブのスポーツ教室・交流会開催回数	回	H21	88	109	127	122	150

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策 ①　スポーツ指導者の養成・確保　主管課　生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	指導者養成事業でカローリングのA級指導員の資格を取った者が講師となり、総合体育文化センターでC級審判員の指導者講習会を開催し、カローリングC級審判員を11名養成した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	スポーツ指導者有資格者数	人	H21	ー	7	5	12	ー

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	スポーツ指導者養成事業	ー	○	ー	ー	○		ー	45千円	10千円	55千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策 ②　スポーツ団体の育成　主管課　生涯学習課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	平成25年度から岩倉スポーツクラブ事業委託料を交付し交流事業を実施した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	総合型地域スポーツクラブのスポーツ教室・交流会開催回数	回	H21	88	109	127	122	150

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	体育協会育成補助金	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	2,018千円	6千円	2,024千円	維持	ー
	2	地域スポーツ交流事業	ー	ー	○	ー	ー	○	ー	997千円	6千円	1,003千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　24　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	1	生涯学習の推進
基本施策	6	スポーツ	単位施策	(3)	既存施設の充実と有効活用
主管課	生涯学習課	関連課	―	総合計画書ページ番号	148
現状と課題	・現在、市内には石仏スポーツ広場と西小スポーツ広場の2ヶ所のスポーツ広場があるが、野球やサッカー、ソフトボール、グラウンドゴルフなどの屋外競技の需要が多いためグラウンドが不足している。また、ソフトボールは、中央公園のグラウンドを中心に利用しているが、周辺住民からは中央公園の占用利用を他のスポーツ施設へ変更するよう要望が出ている。 ・年間多くの利用者がある総合体育文化センターは設置後23年が経過しており設備の老朽化が進んでいるため、照明設備や各部屋の空調機など、今後計画的に更新していく必要がある。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	総合体育文化センターや他の体育施設については、計画的に設備の更新を進めている。
今後の取組	・新たなグラウンドの建設計画を進めていくとともに、、現状のグラウンド不足を解消するため、五条川左岸浄化センターの芝生広場をサッカー練習場として利用できるよう県に働きかけていく。 ・市営大地プールは廃止、取壊しの結論となり跡地には給食センターを建設する計画となったが、現在の駐車場も計画に含まれることから西小スポーツ広場、野寄テニスコート利用者の駐車場を確保・整備していく。 ・総合体育文化センターと他の体育施設も計画的に補修を行っていく必要がある。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	総合体育文化センター利用者数	人	H21	264,605	335,397	385,031	374,646	300,000
	学校運動場夜間照明施設利用者数	人	H21	3,233	2,355	3,228	1,116	4,000

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	スポーツ施設の機能充実	主管課	生涯学習課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	総合体育文化センターの直流電源装置やトレーニング機器の更新、多目的ホールの照明機器取替えをした。また、平成24年度に拡張整備した第2駐車場の舗装整備を行い、駐車場や駐輪場が増えた。石仏スポーツ広場のバックネット等の塗替えを行い、施設の補修を行った。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	総合体育文化センター利用者数	人	H21	264,605	335,397	385,031	374,646	300,000
	スポーツ広場利用者数（西小グラウンド、石仏グラウンド）	人	H21	45,940	34,940	86,064	82,990	40,000
	野寄テニスコート利用者数	人	H21	24,186	20,576	33,419	27,122	30,000

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	総合体育文化センター費（改良費含む）	―	○	―	○	○	―	―	103,787千円	3,868千円	107,655千円	維持	○
	2	体育施設管理費（改良費含む）	―	○	―	○	○	―	―	8,249千円	1,547千円	9,796千円	維持	―
	3													

個別施策	②	学校体育施設の有効活用	主管課	生涯学習課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	年間通して、体育館やグラウンドなどの学校体育施設の開放を行っている。北小が使用している市立体育館の火災警報装置、照明器具落下防止等の修繕を行い施設の維持管理と利用者への安全対策を行った。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	学校運動場夜間照明施設利用者数	人	H21	3,233	2,355	3,228	1,116	4,000

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	夜間照明設備保守点検委託	―	○	―	―	○	―	―	89千円	15千円	104千円	維持	―
	2	夜間照明管理業務委託	―	○	―	―	○	―	―	66千円	15千円	81千円	維持	―
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	1	学校教育	単位施策	(1)	教育内容の充実

主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書ページ番号	150

現状と課題	・個々に応じた指導を進めるため臨時講師を配置している。 ・英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育てるため、小学校に外国語教育臨時講師を配置している。 ・魅力ある学びづくり支援事業により、特色ある学校づくりを進めている。 ・県の研修のほか、初任者の保育園実習、少経験者対象の教師力ステップアップ研修、外国語活動研修などを実施している。子どもたちの確かな学力の向上や豊かな心を育成するためには、教員の指導力向上は欠かせないため、今後も現在行っている研修や学校委託事業の見直しを図りながら、教員の力量を高める取組を充実させていく必要がある。 ・学校にスクールカウンセラー・子どもと親の相談員を配置し、学校外には適応指導教室にカウンセラー・教育相談員を配置することにより、子どもや保護者が気軽に相談できる場を設けている。

２　単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	個々に応じた指導を進めるため臨時講師を配置した。魅力ある学びづくり支援事業により特色ある学校づくりを進めた。県の研修のほか、初任者の保育園実習、少経験者対象の教師力ステップアップ研修、外国語活動研修などを実施した。スクールカウンセラー、子どもと親の相談員の設置等、子どもや保護者が気軽に相談できる体制の充実に努めている。

今後の取組	・本市の教育施策及び文化・スポーツ振興施策の将来のあり方を示す教育振興基本計画の策定に向けて取り組む。 ・平成25年度から平成27年度までを教育プランの最終年次として、魅力ある学びづくり支援事業の内容をより充実させて、特色ある学校づくりを引き続き進める。 ・個々に応じた指導を進めるため臨時講師の配置の充実を図る。 ・県の研修のほか、市独自の研修として、教員の指導力・専門性の向上を図るため、現在行っている研修や学校委託事業の見直しを行いながら経験や職能に応じた教員研修の充実を図る。 ・子どもや保護者が気軽に相談できるよう、学校にスクールカウンセラー・子どもと親の相談員を、学校外においては適応指導教室にカウンセラー・教育相談員を引き続き配置する。また、相談員等がお互いに連携をとりながら早期の問題解決に努める。

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	教育振興基本計画策定	―	H21	―	―	―	―	策定
	子どもが学校生活を楽しんでいると思っている保護者の割合	%	H21	94.2	95.4	93.8	95.0	96.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策　①　教育の質の向上　　主管課　学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	個々に応じた指導を進めるため、臨時講師を配置した。1学級当たりの人数が急激に増加した場合に対応するため、学級運営補助員を配置した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	少人数授業の実施	―	H22	実施	実施	実施	実施	実施

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	外国語教育臨時講師事業	―	○	―	○	○	―	―	3,400千円	39千円	3,439千円	維持	―
	2	外国人児童生徒向け臨時講師事業	―	○	―	○	○	―	―	6,712千円	39千円	6,751千円	維持	―
	3	少人数授業等臨時講師事業	―	○	―	○	○	―	―	18,722千円	77千円	18,799千円	拡大	―

個別施策　②　特色ある教育の推進　　主管課　学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	魅力ある学びづくり支援事業により、各小中学校において特色ある学校づくり（教育）を進めることができた。また、地域の人との相互交流・相互連携を通して生きる力を育てることができた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	教育振興基本計画策定	―	H21	―	―	―	―	策定

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	魅力ある学びづくり支援事業	―	○	―	○	○	○	―	2,910千円	10千円	2,920千円	維持	―
	2	教育振興基本計画策定	○	―	○	―	―	―	―	0千円	0千円	0千円	拡大	○
	3													

個別施策	③	教員の指導力向上	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	教員の指導力向上を図るため、現職教育研修の充実や市主催の経験・職能に応じた研修を行った。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	市主催の少経験者研修開催回数	回	H22	1	2	2	3	3
	現職教育研修開催回数	回	H22	161	171	186	151	170

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	少経験者研修事業	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	50千円	23千円	73千円	拡大	ー
	2	現職教育研修事業	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	564千円	8千円	572千円	維持	ー
	3													

個別施策	④	生徒指導等の充実	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	学校にスクールカウンセラー・子どもと親の相談員を、学校外においては適応指導教室にカウンセラー・教育相談員を配置し、子どもや保護者が気軽に相談できる体制の充実に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	子どもと親の相談員設置人員	人	H22	7	7	7	7	7
	不登校児童の出現率	%	H22	0.38	0.54	0.64	0.45	0.38
	不登校生徒の出現率	%	H22	3.18	3.75	2.82	2.51	2.87

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	子どもと親の相談員設置事業	ー	○	ー	○	○	ー	ー	4,860千円	77千円	4,937千円	維持	ー
	2	教育相談員設置事業	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	240千円	10千円	250千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	1	学校教育	単位施策	(2)	安全・快適な教育環境の充実
主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書ページ番号	151
現状と課題	・子どもたちの安全安心を最優先に考え進めてきた学校施設の耐震補強工事が平成23年度に完了した。今後は老朽化した学校施設について、大規模改造工事計画を策定し、良好な教育環境の整備をしていく必要がある。また、計画的に実施していくための財源確保に向けた取組の検討が必要である。 ・学校施設や設備の改修や整備など、比較的小規模なものについては現況把握をしながら進めている。 ・情報環境の更新について、計画的な実施を進めている。 ・児童生徒数の推移を考慮しながら学校規模の適正化を図るため、通学区域の見直しの検討を行う必要がある。 ・平成24年9月に更新したコンピュータ及び周辺機器の積極的な活用を図るため、LAN未整備であった普通教室全ての整備を行った。 ・通学路については、道路幅員や交通規制などの制約により歩道を設置することが困難な場合は、路肩のカラー塗装による簡易整備を行い、交通安全対策を施している。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	地域の協力を得て、全小学校にスクールガード※が設置されている。小中学校のコンピュータの更新を計画的に実施し、情報環境の整備に努めている。学校施設の計画的な再整備に向けて、大規模改造工事計画を策定していく必要がある。
今後の取組	・良好な教育環境の整備をしていく必要があるため、老朽化した学校施設について、躯体の補修や設備の更新を考慮した長寿命化を図る大規模改造工事計画を策定する。また、計画的に実施していくために基金の設置等の財源確保に向けた取組などの検討も進める。 ・学校施設や設備の改修や整備など、比較的小規模なものについては現況把握をしながら進める。 ・児童生徒数の推移を考慮しながら学校規模の適正化を図るため、通学区域の見直しの検討をする。 ・小中学校のネットワーク機器が経年劣化により不具合が生じる可能性があるため、更新していく。 ※スクールガード：各小学校区を中心に学校及び通学路等における児童生徒等の安全を守るために活動をするボランティア	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	学校施設耐震化率	%	H21	59.1	100.0	100.0	100.0	100.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	人や環境にやさしく安全な教育環境づくり	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	児童生徒の安全の向上を図るため、PTAと連携し通学路点検を実施し、危険箇所の対策について学校・道路管理者・警察で合同会議を開き、対応に努めている。通学路安全ボランティア制度を整備し、地域の協力を得て全小学校にスクールガードが設置されている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	学校施設耐震化率	%	H21	59.1	100.0	100.0	100.0	100.0
	大規模改造工事計画策定	―	H22	―	―	―	―	策定

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	小中学校施設改良事業	―	―	―	○	○	―	―	79,232千円	232千円	79,464千円	拡大	○
	2	小中学校修繕事業	―	―	―	○	○	―	―	34,178千円	193千円	34,371千円	拡大	―
	3													

個別施策	②	情報化に対応した施設・設備の充実	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	小中学校のコンピュータの更新を計画的に実施し、情報環境の整備に努めている。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	教員等1人当たりのコンピュータ台数	台	H22	0.72	0.85	0.98	0.97	1.00

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	小中学校コンピュータ維持管理事業	―	○	―	○	○	―	―	37,818千円	116千円	37,934千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	③	学校施設の再整備と通学区域の見直し	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	△	学校施設の計画的な再整備に向けて、大規模改造工事計画を策定していく必要がある。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	通学区域審議会開催回数	回	H22	0	1	0	0	1
	大規模改造工事計画策定	ー	H22	ー	ー	ー	ー	策定

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	小中学校通学区域審議会	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	0千円	0千円	0千円	維持	ー
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	1	学校教育	単位施策	(3)	地域ぐるみによる学校教育の充実

主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書 ページ番号	152

現状と課題	・学校運営においては、家庭・地域の教育力を活用し、家庭・地域との交流・連携の一層の充実を図り、開かれた学校運営を進める必要がある。 ・家庭や地域との交流・連携による学校教育の充実を図るため、地域の高齢者から伝承遊びを学んだり、保護者の協力のもと学校施設の美化活動等を実施している。 ・稲・野菜づくりなど総合的な学習の時間や社会科の授業などに地域の人材等の活用を図っているが、限られた人たちからの協力が多く、新たな人材の発掘が求められている。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	保護者に対して積極的に学校に関する情報を発信した。また、学校行事等に地域の人たちが参加、協力するなど、家庭や地域、PTAとの交流・連携を図ることができた。

今後の取組	・教員だけの力ではなく、家庭・地域の教育力を活用し、家庭・地域との交流・連携の一層の充実を図り、開かれた学校運営を進める。 ・家庭や地域との交流・連携による学校教育の充実を図るため、地域の高齢者から伝承遊びを学んだり、保護者の協力のもと学校施設の美化活動等を実施している。 ・地域等人材の活用を図っているが、協力者を増やすため、市内小中学校で活用状況を共有したり、人材バンクへの登録など新たな手法を凝らして人材の発掘を進める。

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	地域等人材活用件数	件	H21	150	168	185	197	160
	教育活動に参加した地域等人材の人数（延べ人数）	人	H21	352	454	476	585	370

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	開かれた学校運営の推進	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	保護者に対して積極的に学校に関する情報を発信した。また、地域住民の意見を反映させるため学校評議員制度を活用した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	1校当たり学校評議員会議開催回数	回	H22	2.1	2.1	2.1	2.1	2.4
	緊急メール登録率	%	H23	83.0	83.0	88.7	87.9	89.0

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	学校評議員事業	―	○	―	―	―	―	○	0千円	10千円	10千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	②	家庭・地域との交流・連携活動の充実	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	学校行事等に地域の人たちが参加・協力するなど、家庭や地域との交流・連携を図ることができた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	地域等人材活用等件数	件	H21	150	168	185	197	160
	教育活動に参加した地域等人材の人数（延べ人数）	人	H21	352	454	476	585	370

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	地域等人材活用事業	―	○	―	―	―	○	○	0千円	23千円	23千円	維持	○
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	1	学校教育	単位施策	（4）	幼児教育の充実
主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書ページ番号	152
現状と課題	・心豊かなたくましい子どもを育てる特色ある幼稚園づくりを促進するため、私立幼稚園に対し、園具・教具などの設備品や施設の充実、職員研修、保健事業等に対する私立幼稚園補助を実施している。 ・幼稚園通園に係る保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費補助を実施している。保護者への補助は増えているが、市の財政負担も年々増えてきている。 ・小学校への就学をより円滑に進めるため、幼稚園・保育園・小学校による連絡会を開催し、きめ細かな情報交換を行っている。 ・小中学校の児童生徒が幼稚園・保育園を訪問したり、園児が体験入学するなど、幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携を図っている。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	◎	私立幼稚園の運営支援として私立幼稚園補助金を、保護者の経済的負担軽減として幼稚園就園奨励費補助金を継続実施した。また、各小学校において幼稚園・保育園・小学校による連絡会を開催し、情報交換等を行った。
今後の取組	・特色ある幼稚園づくりを促進するため、引き続き、私立幼稚園に対して私立幼稚園補助を実施し運営支援をする。また、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費補助を実施する。 ・小学校への就学をより円滑に進めるため幼稚園・保育園・小学校による連絡会を開催し、情報交換を行う。 ・一日体験入学等の場を用いて園児と児童が交流する機会を作る。また、教員の相互理解の促進や共通課題の研究等実施のため、合同研修等を実施する。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
	幼稚園児の定員に対する充足率	%	H21	60.9	59.1	59.6	58.3	63.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策　①　特色ある幼稚園づくりへの支援　主管課　学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	◎	特色ある幼稚園づくりを促進するため、私立幼稚園に対して私立幼稚園補助を実施し運営支援をした。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
	幼稚園児の定員に対する充足率	%	H21	60.9	59.1	59.6	58.3	63.0

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	私立幼稚園補助事業	―	○	―	―	○	―	―	4,048千円	46千円	4,094千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策　②　保護者の経済的負担の軽減　主管課　学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	◎	授業料等の保護者負担の軽減を図るため、私立幼稚園就園奨励費補助金を継続実施した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	（H23）	（H24）	（H25）	（H27）
	幼稚園児の定員に対する充足率	%	H21	60.9	59.1	59.6	58.3	63.0
	私立幼稚園就園奨励費補助金交付件数	件	H21	680	717	670	677	―

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	私立幼稚園就園奨励費補助事業	―	○	―	―	○	―	―	66,988千円	387千円	67,375千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	③	幼児教育関連機関との連携	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	全小学校において幼稚園・保育園・小学校による連絡会を開き、幼児教育や保育の充実と小学校への就学をより円滑に進めるための情報交換等を行うことができた。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	幼稚園・保育園・小学校による連絡会開催回数(1校当たり)	回	H22	2	2	2	2.2	2

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	幼稚園・保育園・小学校による連絡会	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	0千円	0千円	0千円	維持	ー
	2													
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	1	学校教育	単位施策	(5)	学校給食

主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書 ページ番号	153

現状と課題	・安全でおいしい学校給食の提供を第一に、地産地消を進めるとともに旬の食材等を取り入れ、栄養のバランスだけでなく児童生徒のし好にも配慮し、献立の多様化や給食内容の充実に努めている。今後も、食を通して豊かな心を育むための取組が求められている。 ・学校給食センターは、施設全般の老朽化が進んでいることから、安全・安心で、魅力のある学校給食を継続して提供していくために、施設・設備の適正な維持管理を行うとともに、新学校給食センターの建替えを進めていく。

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	給食食材の地産地消を推進し、安全・安心な給食を提供するとともに、食育指導に努めた。 また、新学校給食センター建設に向けた基本構想・基本計画を定めた。
今後の取組	・成長期の児童生徒に必要な栄養価を学校給食から摂取しているため、安全でおいしい魅力ある学校給食の提供に取り組んでいく。 ・栄養教諭等が、給食時間に食育指導を行うとともに、児童生徒に好まれる給食の献立作成に役立てていく。 ・平成28年度完成目標に向け、新学校給食センターの事業認定、用地買収、実施設計、建設工事に取り組んでいく。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	小中学校での栄養教諭等による食の指導回数	回	H21	93	95	81	78	105
	給食時間が楽しいと思う児童生徒の割合	%	H21	94.0	81.0	―	―	96.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	安全でおいしい魅力のある学校給食の提供	主管課	学校教育課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	学校給食の献立には、セレクト給食（各学期）、行事食（随時）等を取り入れている。また、地産地消を進めるため、岩倉産や愛知県産の食材を取入れるととも、調理作業のドライ運用に努め、安全安心な学校給食を提供した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	1人一食当たりの残食量	g	H22	12.3	10.8	10.3	10.7	10.0
	セレクト給食実施回数	回	H22	3	3	3	3	3

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	学校給食調理	―	―	―	○	○	―	―	168,176千円	48,986千円	217,162千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	②	学校における食育の充実	主管課	学校教育課

	評価	評価理由
評価及び理由	○	栄養教諭等が、給食時間に「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発や食育指導を実施した。教室に掲示していたひとこと指導を献立表の裏面に掲載し、家庭でも見れるようにした。市のホームページに毎月の献立やアレルギー資料を掲載した。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	小中学校での栄養教諭等による食の指導回数	回	H21	93	95	81	78	105

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	食育指導	―	○	―	―	―	―	○	0千円	0千円	0千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	③	施設・設備等の計画的な更新	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	◎	新学校給食センター建設に向けた基本構想・基本計画を策定し、建設基金として1億円を積み立て、総額2億4,000万円とした。衛生環境の整備として、調理場内の床の補修や調理機器等の保守・修理を行った。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	基本構想・基本計画の策定	ー	H22	ー	ー	ー	策定	策定
	新学校給食センター建設工事着手	ー	H22	ー	ー	ー	ー	着手

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	学校給食センター施設管理	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	42,949千円	508千円	43,457千円	維持	ー
	2	新学校給食センター建設事業	ー	ー	○	○	○	ー	ー	100,740千円	464千円	101,204千円	拡大	○
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	2	特別支援教育	単位施策	(1)	特別支援教育の充実
主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書ページ番号	156
現状と課題	・近年、通常の学級において発達障害のある児童生徒により、学級経営が困難となるケースが増えている。 ・通常の学級に在籍し、特別な支援を必要とする児童生徒の社会的自立を確立するため、特別支援教育支援員を配置しているが、対象となる児童生徒が増加しており、支援員の配置に対するニーズは高まっている。 ・吃音など言葉の発声に障害のある児童生徒が正しい発音などを身に付けるため、ことばの教室（通級指導教室）による支援を行っている。また、岩倉北小学校において、発達障害のある児童対象のすずらん教室（通級指導教室）を設置し、自立活動や教科補充等の個別指導を行っている。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	児童生徒の個々の能力等に応じた支援の充実を図っている。通常学級と特別支援学級との交流教育の実施やユニバーサルデザイン講座などを通して、ノーマライゼーションの理解促進を図った。
今後の取組	・近年、通常の学級において発達障害のある児童生徒により、学級経営が困難となるケースが増えているため、個々の支援を実施することにより、担任を補助し円滑な学級経営が行えるよう、特別支援教育支援員の配置の充実を図る。 ・通級指導教室において、より効果的な指導を行うため、教具の充実を図る。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	特別支援教育支援員数	人	H21	8	9	10	12	14
	ことばの教育で指導が終了して退級した児童の割合	%	H21	65.4	33.3	47.8	35.0	66.0

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	個別指導の充実	主管課	学校教育課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	障害のある児童生徒に対し、個々の能力や段階に対応した個別支援を行った。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	特別支援教育支援員数	人	H21	8	9	10	12	14

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	特別支援教育支援員派遣事業	―	○	―	○	○	―	―	11,806千円	77千円	11,883千円	拡大	○
	2													
	3													

個別施策	②	特別支援学級・通級指導教室の充実	主管課	学校教育課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	特別支援学級、ことばの教室やすずらん教室において、教材等の充実を図るとともに、通級指導の充実に努めた。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	ことばの教室で指導が終了して退級した児童の割合	%	H21	65.4	33.3	47.8	35.0	66.0

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	ことばの教室事業	―	○	―	―	○	―	―	79千円	19千円	98千円	維持	―
	2	すずらん教室事業	―	○	―	―	○	―	―	441千円	19千円	460千円	維持	―
	3													

個別施策	③	児童生徒のノーマライゼーションの理解促進	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	通常学級と特別支援学級との交流教育の実施やユニバーサルデザイン講座などを通して、ノーマライゼーションの理解促進を図った。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	ユニバーサルデザイン講座開催校(福祉実践教室含む)	校	H21	7	7	7	7	7

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	交流学級事業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	0千円	0千円	0千円	維持	ー
	2	ユニバーサルデザイン推進事業	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	0千円	8千円	8千円	維持	ー
	3													

単位施策評価シート（平成２５年度実施施策）

１　単位施策の情報

【評価日】 H26　年　4　月　17　日

章	3	豊かな心を育み人が輝くまち	節	2	学校教育
基本施策	2	特別支援教育	単位施策	(2)	支援体制の充実
主管課	学校教育課	関連課	―	総合計画書ページ番号	157
現状と課題	・特別な支援を必要とする児童生徒の社会的自立を確立するため、特別支援学校、特別支援学級及び通級指導教室による指導の充実が求められている。また近年では、障害の重度化・重複化や発達障害など多様な障害に応じた指導の充実が求められている。 ・事例検討会等を実施し、教員の専門性や指導力の向上に努めている。 ・就学指導委員会や特別支援教育校内委員会において、障害のある子どもの就学相談や実態把握、支援方法の検討などを行っている。 ・保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携し、就学や就労等における進路指導の充実に努めている。				

２　単位施策の評価と今後の取組

	評価	評価理由
評価及び理由	○	外部講師による事例検討会等を実施し、教員の専門性や指導力の向上に努めるとともに、校内及び関係機関と連携し、相談体制の充実を図った。
今後の取組	・児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を軽減又は克服するため、特別支援学級及び通級指導教室による指導の充実を図る。 ・外部講師による事例検討会等を実施し、教員の専門性や指導力の向上に努める。 ・就学指導委員会や特別支援教育校内委員会において、障害のある子どもの就学相談や実態把握、支援方法の検討などを引き続き行う。 ・就学や就労等における進路指導の充実に向け、保健・医療・福祉・教育などの関係機関との連携の強化を図る。 ・障害のある子どもの保護者が就学前から気軽に相談できる環境整備に努める。 ・肢体不自由児童の障害の進行状況に応じて、手すりの設置などの施設整備を行う必要性がある。	

３　単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	特別支援学級数	学級	H21	12	13	13	14	14

４　各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	教職員の専門性や指導力を高める体制づくり	主管課	学校教育課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	外部講師による事例検討会等を開催し、教員の専門性や指導力の向上に努めた。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	外部講師による事例検討会開催回数（7校）	回	H22	6	6	7	7	7

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	事例検討会	―	―	―	―	―	―	○	0千円	0千円	0千円	維持	○
	2													
	3													

個別施策	②	支援体制の確立	主管課	学校教育課
評価及び理由	評価	評価理由		
	○	特別支援教育コーディネーターを各校に配置し、支援体制の充実を図った。		

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	特別支援教育コーディネーター配置人数	人	H22	7	7	7	7	7
	特別支援教育校内委員会開催回数（7校合計）	回	H22	21	23	22	34	21

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	特別支援教育コーディネーター配置事業	―	○	―	―	―	―	○	0千円	0千円	0千円	維持	―
	2													
	3													

個別施策	③	進路指導・相談機能の充実	主管課	学校教育課

評価及び理由	評価	評価理由
	○	障害のある子どもの保護者が就学前から気軽に相談できる早期教育相談を実施した。養護学校との連携により進路指導の充実を図った。

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	早期教育相談件数	件	H22	3	4	4	2	ー

事務事業		事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
	1	早期教育相談事業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	0千円	15千円	15千円	維持	ー
	2													
	3													